

# 戦争と女性の人権を考える集い —私たちの戦後責任—

2009年8月8日(土)

フォルツァ総曲輪 旧とやまWizシネマ  
裏面に地図  
TEL 076-493-8815

参加費  
**1000円** (学生800円)  
高校生以下無料

## 映画

第1回上映=午後1時より 第2回上映=午後4時30分より

在日朝鮮人「慰安婦」宋神道のたたかい  
**オレの心は負けてない**

2007年/日本/95分/カラー  
監督 安海龍  
プロデューサー 梁澄子



だまされて「従軍慰安婦」にされたことについて、在日でただ一人、日本政府に対して「謝罪文の交付」と「国会での公式謝罪」を求めて提訴した宋神道(ソン・シンド)さんが、裁判を闘い支援者たちとの交流を通して他者と自分自身への信頼を取りもどしてゆく姿を追ったドキュメンタリー。2003年3月、最高裁で上告棄却によって敗訴が確定。  
そのときの宋さんの言葉。  
「裁判に負けても、オレの心は負けてない」。

## 講演

午後2時50分より

引き継がれる記憶と闘い~韓国・女性の人権博物館の実現をめざして

池田恵理子 アクティブミュージアム「わたしの戦争と平和資料館」運営委員長

## パネル展示

wam アクティブ・ミュージアム  
わたしの戦争と平和資料館

この催しの収益はソウルに建設計画中の「戦争と女性の人権博物館」の資金として寄付する予定です。

私たちもこの催しに賛同します

(6月10日現在・賛同募集中)

女性会議富山県本部 アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯会議 アジア子どもの夢 NPO 法人文福 クローバーの会  
9条市民の会氷見 9条平和小杉の会 憲法をまもる小矢部の会 韓国民団富山県本部 シネ・ラ・セット21 シャキット  
富山35 浄土真宗本願寺派富山教務所・高岡教務所 真宗大谷派富山教務所・高岡教務所 新日本婦人の会富山県本部  
治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟富山県本部 朝鮮総聯富山県本部 富山県母親大会連絡会 富山県平和運動センター  
富山YMCA ななの会 日中友好協会富山支部 ハンセン病ふるさとネットワーク富山 ピースナイン 不二越訴訟北陸連  
絡会 ベアテさんの会 平和をつくる富山県連絡会 めんどり会議 「もう、ひとりにはさせないよ!」の会

主催=「戦争と女性の人権を考える集い」実行委員会 連絡先=090-5175-3756(堀江)

後援=富山市

## <企画の趣旨>

ひとりの在日の元「従軍慰安婦」が、鉄面皮にシラを切り続ける日本という国家を裁判に訴えるさまをドキュメンタリーで描いた映画「オレの心は負けてない」を上映し、併せて、女性の人権と戦争の問題を追及し続けているVAWW-NETジャパンのメンバーによる講演を開き、戦時において、とりわけ女性がいかに人権を蹂躪されてきたのか、愚行を繰り返さないために何が必要なのかを考え、現在の問題として私たちの「戦後責任」の取り方を問う集いをもちます。

\*

日本の国家（軍隊）が関与して、植民地や占領地の女性（若い少女が多数含まれる）をだまして、あるいは暴力的に徴用して、その心と体に回復しがたい傷を負わせた、いわゆる「従軍慰安婦」（戦時性奴隷）制度は、戦時暴力の最も苛酷なもののひとつです。

顔を上げてその被害の償いを求めているごく少数の女性たちの背後には、名乗りを上げられずに苦しんでいる女性、迫害と苦悩の中でその生涯を終えた女性、戦後まで生きながらえることができず故国を遠く離れた異郷の戦地で亡くなった女性、あるいは自ら命を絶った女性などなど、万あるいは十万という数で算えるべき女性たちが存在しています。

戦後生まれの人間が多数になり社会の中心を担うようになった現在、私たちの社会は戦争責任・戦後責任を取らないまま、あらたな「戦前」に入りつつあるのではないのでしょうか。

日本軍慰安婦制度（＝「従軍慰安婦」）について、政府の責任において徹底した調査を行い、被害者に対して公式に謝罪と補償を実行すること、私たちが政府にそれを要求し、政府が実行すること。それが私たちの「戦後責任」のひとつの取り方です。



いけだ えりこ

### 講師＝池田恵理子さん

1950年 東京生まれ。テレビディレクター。制作した番組の主なテーマは、女性、教育、人権、エイズ、東ティモール、アジア太平洋戦争、「慰安婦」問題など。1997年に女性映像集団・ビデオ塾を創設し、「慰安婦」被害者の証言記録運動を始める。VAWW-NET ジャパンで2000年・女性国際戦犯法廷に参加。現在はアクティブミュージアム「わたちの戦争と平和資料館」（略称wam）の運営委員長。

制作した番組に、「体罰」「命ある限り～あるエイズ感染者の日々」、「埋もれたエイズ報告」、「北京・世界女性会議」「50年目の“慰安婦”問題」など。

ビデオ塾で制作したビデオ作品に、「私たちは忘れない～追悼・姜徳景ハルモニ」「沈黙の歴史をやぶって～女性国際戦犯法廷の記録」「松井やより 全力疾走～ガンと闘った2ヵ月半の記録」「アウシュビッツからベルリンへ～加害者の記憶をたどる旅」「大娘たちの戦争は終わらない～中国山西省・黄土の村の性暴力」など。

主な共著書は、「体罰～何故教師は殴るのか」「テレビ・ジャーナリズムの現在」「エイズと生きる時代」「女性国際戦犯法廷の記録(月)加害の精神構造と戦後責任」「黄土の村の性暴力～大娘たちの戦争は終わらない」「ある日本兵の二つの戦場～近藤一の終わらない戦争」など。

## 戦争と女性の人権博物館（韓国・ソウル）

「慰安婦」問題を記憶、再現、教育し、平和を確立するための博物館運動の経験を日本と韓国で共有し、戦争の記憶を平和に繋げるための博物館。韓国挺身隊問題対策協議会（挺対協）が2004年から計画・推進してきた。ソウルの西大門独立公園内に敷地を確保、本年3月8日に着工予定だったが、「民族の聖地」である西大門独立公園内にこの博物館を建てることは「殉国先烈」に対する名誉毀損だとして反対が続いている。資金は約半分が集まっており、今後、若者を中心運動を展開して集める計画とのこと。

日本側では「戦争と女性の人権博物館」日本建設委員会が窓口となっている。会場でも建設資金の寄付を受け付けます。

### スケジュール

午後1時～2時40分 映画上映（第1回）

午後2時50分～4時15分 講演

午後4時30分～6時10分 映画上映（第2回）

